

第5回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 議事等綴り

議第1号 平成24年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）
活性化協議会事業計画（案）について

議第2号 平成24年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）
活性化協議会歳入歳出予算（案）について

別表（第4条関係）

	御嵩町	可児市	八百津町
首長	御嵩町長	可児市長	八百津町長
議会	御嵩町議會議長 御嵩町議会名鉄線対策特別委員会委員長	可児市議會議長 可児市議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	八百津町議會議長
教育関係者	御嵩町教育長 可茂地区高等学校 P T A 連合会代表者 可茂地区高等学校校長会会长 岐阜県立東濃高等学校校長 岐阜県立東濃実業高等学校校長 岐阜県立八百津高等学校校長	可児市教育長	八百津町教育長
経済関係者	御嵩町商工会代表者 御嵩町観光協会代表者	可児商工会議所代表者 可児市観光協会代表者	八百津町商工会代表者
住民	御嵩町自治会長連絡協議会代表者	可児市自治連絡協議会代表者	

1 平成 24 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会事業計画（案）

項目	実施日	内 容
活性化協議会	平成 24 年 4 月	・平成 24 年度事業計画及び予算の承認について (書面決議)
	平成 24 年 6 月ごろ	・平成 23 年度事業報告及び決算の承認について ・平成 23 年度名鉄広見線利用者数報告について ・活性化計画 2 ヶ年の取り組み検証 など
	随 時	平成 25 年度以降の対応について
利用促進事業	通 年	利用促進・意識啓発・周知活動など 実施計画（案）のとおり

2 平成 24 年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会歳入歳出予算（案）

<歳入の部>

(単位：千円)

収入科目	予算額	説 明
1. 負担金	6,100	御嵩町 3,600 千円 可児市 2,500 千円
2. 繰入金	2,000	前年度繰越金
3. 雑入	1	利息等
合計	8,101	

<歳出の部>

(単位：千円)

支出科目	予算額	説 明
1 旅費	95	費用弁償 1,500 円 × 15 人 × 4 回 職員旅費（嘱託職員含む。）
2 会議費	10	
3 事務費	200	郵便代、コピーデザインなど
4 利用促進事業費	5,196	事業内訳（名鉄利用促進実施計画参照） ①学校団体を主体とする利用促進事業 659 千円 ②経済団体を主体とする利用促進事業 1,566 千円 ③移動環境整備による利用促進事業 60 千円 ④住民団体・サポーター事業 320 千円 ⑤通勤等での利用促進事業 553 千円 ⑥意識啓発事業 2,038 千円
5 調査事業費	2,600	広見線沿線の公共交通ネットワーク形成調査等
合計	8,101	

多様で広域となる実施主体それぞれが連携を図り、名鉄利用促進策を一体となって進め、効果的・効率的に実施していくため、名鉄広見線活性化協議会事務局に嘱託職員の名鉄利用推進員を置く。

ただし、身分としては御嵩町にて雇用し、御嵩町の一般会計予算にて計上する。

(単位：千円)

支出科目	予算額	説明
報酬費	1,983	名鉄利用推進員報酬費（御嵩町一般会計歳出予算）
共済費	350	名鉄利用推進員共済費（御嵩町一般会計歳出予算）
計	2,333	

◆名鉄広見線利用促進平成24年度実施計画（案）について

まちづくりや暮らしに必要な名鉄広見線を存続していくため、住民一人ひとりの交通行動を変えていくことが鍵であり、そのための施策を関係者が協力しながら展開していくため、名鉄広見線活性化計画に掲げた利用促進策を具体的に実施するための実施計画を定める。

平成24年度は活性化計画の最終年度ということもあり、2年間の評価・分析も行いながら25年度以降の広見線存続につなげていくこととする。

◆名鉄広見線活性化計画より

目標を達成するための施策

利用促進策の展開

名鉄広見線対策協議会に参画する団体・組織をはじめとする関係者が、主体的に、また連携を図りながら利用促進策に取り組む。

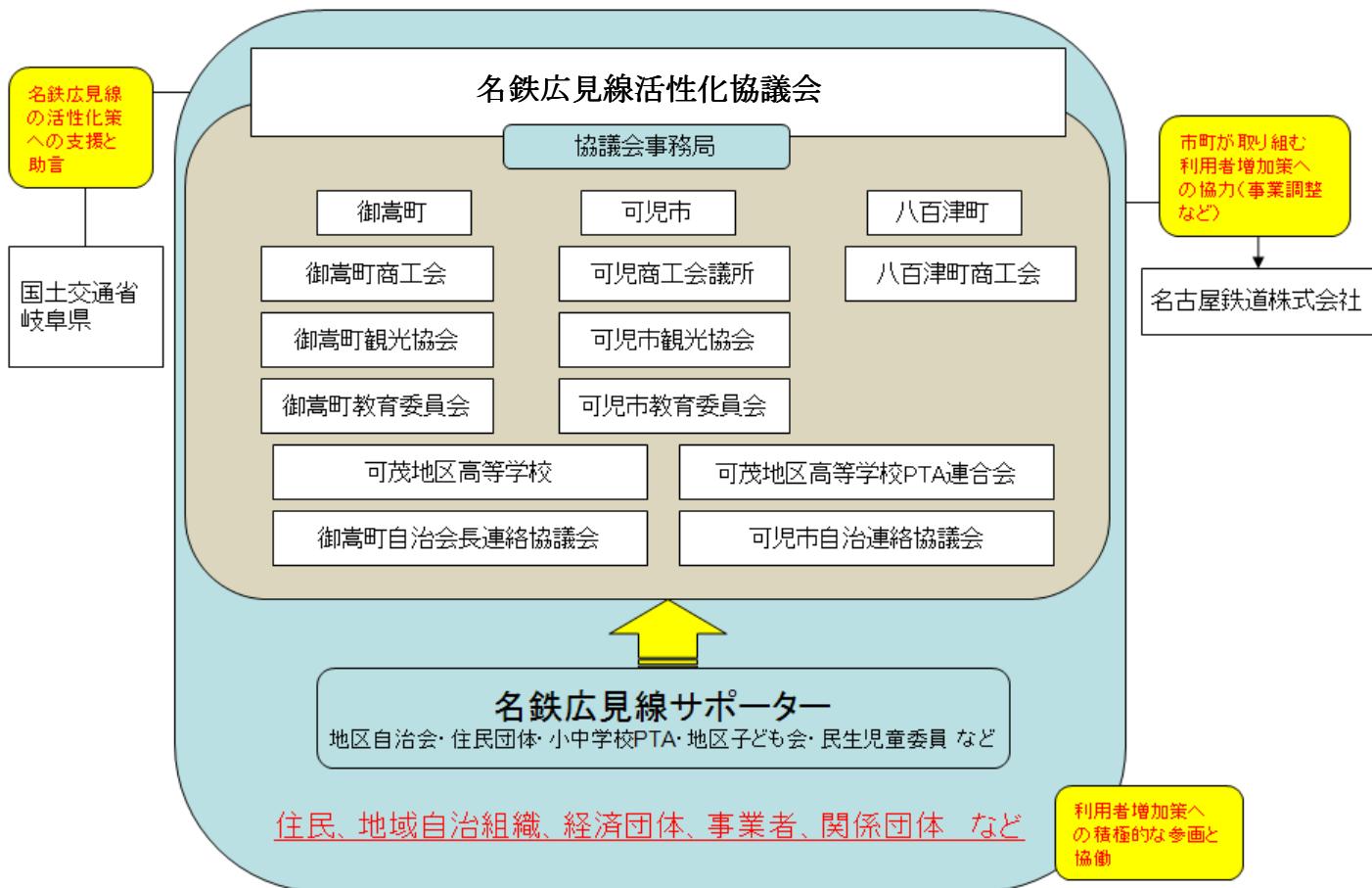
表 名鉄広見線の活性化に向けた施策メニュー

施策の方向	施策の区分	具体的な施策メニュー（例）
1. 学校教育関係の組織を主体とする利用促進策	1) 遠足、社会見学等における利用促進	<ul style="list-style-type: none">● 学校行事での利用促進
	2) 学生・生徒による活性化	<ul style="list-style-type: none">● 学生・高校生中心とする利用促進
2. 経済団体（商工会・商工会議所、観光協会等）を主体とする利用促進策	1) まちづくり等との連携	<ul style="list-style-type: none">①既存のまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進<ul style="list-style-type: none">● 御嵩町産業祭● みたけの森さきゆりまつり②新たなまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進<ul style="list-style-type: none">● ハイキング・ウォーキング（名勝・旧跡めぐり）● 観光バスツアー● スタンプラリー● イベント企画提案事業③駅周辺における交流拠点整備<ul style="list-style-type: none">● 御嵩駅周辺賑わい創出
		<ul style="list-style-type: none">②新たなまちづくりイベントや催し物との連携による利用促進<ul style="list-style-type: none">● ハイキング・ウォーキング（名勝・旧跡めぐり）● 観光バスツアー● スタンプラリー● イベント企画提案事業③駅周辺における交流拠点整備<ul style="list-style-type: none">● 御嵩駅周辺賑わい創出
		<ul style="list-style-type: none">2) 広見線そのものの魅力の向上施策の展開による利用促進<ul style="list-style-type: none">● 駅・列車を用いたイベント● 名産品等のグッズ販売● 広見線利用が特典となる仕組み
3. 移動環境の整備による利用促進	—	<ul style="list-style-type: none">①乗り継ぎ機能の強化<ul style="list-style-type: none">● パークアンドライド用駐車場の充実・利用促進● サイクルアンドライド用駐輪場の利用促進● 運行時刻や乗り継ぎ情報、周辺施設情報等の提供②駅アクセス利便性の向上<ul style="list-style-type: none">● シャトルバス等の運行● レンタサイクルの実施
4. 住民団体・サポーター制度	—	<ul style="list-style-type: none">● 組織づくり● 支援拠点の設置、充実
5. 通勤等での利用促進	—	<ul style="list-style-type: none">● 通勤時、出張時の利用促進
6. 意識啓発	—	<ul style="list-style-type: none">● ワークショップ等による意識啓発● モビリティ・マネジメントの実施

計画の推進体制

本計画は、名鉄広見線活性化協議会を中心に、以下に示す経済団体、各種団体及び地域住民、交通事業者が一体となって具体的な利用促進策を実施するものとする。

図 名鉄広見線利用促進推進体制図



〈期待される役割〉

主体	期待される役割
住民、地域自治組織、経済団体、事業者、関係団体 など	現在又は将来において、公共交通を利用する主体であり、かつ自ら公共交通を支える主体としての意識を持って、直接・間接に受益者として利用者増加策に積極的な参画と協働を行う。
行政	住民の生活を支えるべき基礎自治体として、住民の移動手段を確保するため、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の維持存続に努め、住民など関係者とともに名古屋鉄道と連携を図り、利用者増加策に取り組む。
国・岐阜県	名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用者増加策への支援と助言を行う。
名古屋鉄道株式会社	公共交通サービスの直接の供給者であり、市町が取り組む利用者増加策の具体化に向けた事業調整に参画するなど可能な範囲で協力する。

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会 名簿

<顧問>

平成24年4月1日現在

	役職名等	氏名	備考
県議会	岐阜県議会議員	小原 尚	
	岐阜県議会議員	村上孝志	

<委員>

	役職名等	氏名	備考
首長	会長 御嵩町長	渡邊 公夫	
	副会長 可児市長	富田 成輝	
	副会長 八百津町長	赤塚 新吾	
議会	監事 御嵩町議会議長	谷口 鈴男	
	監事 可児市議会議長	可児 慶志	
	八百津町議会議長	平岡 富弘	
	御嵩町議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	加藤 保郎	
	可児市議会名鉄広見線対策特別委員会委員長	伊藤 健二	
教育関係者	御嵩町教育長	丹羽 一仁	
	可児市教育長	大杉 一郎	
	八百津町教育長	有賀 昌司	
	可茂地区高等学校 P T A連合会会长	伊藤 英幸	八百津高等学校
	可茂地区高等学校校長会会长 (可児高等学校校長)	岩手 達夫	
	岐阜県立東濃高等学校校長	沢井 和弘	
	岐阜県立東濃実業高等学校校長	鈴木 裕子	
	岐阜県立八百津高等学校校長	飯田 健二	
経済関係者	御嵩町商工会	寺尾 光彦	
	可児商工会議所	桑下 和弘	
	八百津町商工会	佐合 重光	
	御嵩町観光協会	伊崎 公介	
	可児市観光協会	林 則夫	
住民代表者	御嵩町自治会長連絡協議会	山田 敏宏	
	可児市自治連絡協議会	奥村 幸生	

<関係者（指導・助言）>

	役職名等	氏名	備考
国	国土交通省中部運輸局鉄道部長	湯田 豊人	
岐阜県	岐阜県都市建築部公共交通課長	鍋島 寿	

<事務局>

	役職名等	氏名	備考
御嵩町	総務部長	鍵谷 昌孝	
	企画調整担当参事	三輪 康典	
	企画課 課長	加藤 暢彦	
	企画課 係長	早川 均	
可児市	企画経済部長	加納 正佳	
	総合政策課 課長	牛江 宏	
	総合政策課 係長	肥田 光久	
八百津町	産業課 課長	田口 博	
	産業課 課長補佐	山内 好仁	

書面決議による第5回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会議事録

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会の決議があったものとみなされた事項の内容

- (1) 平成24年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会
事業計画の承認
- (2) 平成24年度名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会
歳入歳出予算の承認

1. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会の決議があったものとみなされた日

平成24年4月25日

1. 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

名鉄広見線活性化協議会事務局 加藤暢彦

以上のとおり、協議会規約第8条第2項の規定により、協議会の決議があつたものとみなされたので、決議を明確にするため、活性化協議会会长及び議事録作成者がこれに記名押印する。

(参考) 協議会規約抜粋

第8条 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

2 前項の規定にかかわらず、会長は書面による賛否を求めて、会議の決議に代えることができる。

平成24年4月25日

第5回名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）活性化協議会

会長 御嵩町長 渡邊 公夫

議事録作成者 事務局 加藤 暢彦